

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2831	担当課等	農林水産課							
事務事業名	県営土地改良広域農道(小田原湯河原地区)整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	5	項	1	目	4	事業開始年度	平成8年

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(1) 農業生産基盤の 整備	広域農道整備				
関連する個別計画	広域営農団地農道整備計画、神奈川県地域再生計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小田原市から、真鶴町、湯河原町につながる広域的な基幹農道を整備することにより、集出荷作業の省力化、流通の合理化等を図り、農業の振興を中心とした地域の活性化を推進する。								
対象	農業者、町内外の広域農道利用者								
内容	県営土地改良事業のため法律に基づいた地元負担金の支出 全体計画:16,974m 湯河原町分:3,186m。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		7,700,000		8,129,000		13,212,000	
	人件費	常勤職員	701,200		685,600		723,200	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	701,200		685,600		723,200	
	総事業費		8,401,200		8,814,600		13,935,200	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		6,900,000		7,300,000		11,880,000	
	その他特定財源							
	一般財源		1,501,200		1,514,600		2,055,200	
	財源合計		8,401,200		8,814,600		13,935,200	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
整備延長			整備延長		m	2.9	60	60
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
整備率 湯河原2期分 L=1,954m			整備延長/全体×100		%	0.05	3.07	3
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	土地改良法に基づく事業の負担金であり、将来的に道路は町に移管されるため。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	現在2期工事中であり、全線開通したおりには効果は得られる。
類 似 性	他事業との類似はないか	4	現在2期工事中であり、全線開通したおりには効果は得られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	現在2期工事中であり、全線開通したおりには成果は得られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	事業完了後は、町に移管されるため農家だけではなく、広く町民等も利用できる。
令和4年度までの自己評価または改善点		既設農道との擦り付けや雨水排水の流末について県との調整を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 3市町をつなぐ広域農道であるため、県が事業主体となっている。
令和5年度の見直し及び改善予定	平成30年度に交わした排水設計基準に基づき、既存農道と、広域農道の交差箇所の協議をおこない工事を実施する。 町道幕山公園通り線から黄金松農道までの供用開始を行う。
令和6年度以降の方向性	平成30年度に交わした排水設計基準に基づき、既存農道と、広域農道の交差箇所の協議を進め、早期完成を目指す。 町道小道地蔵線から白沼田農道までの供用開始をする。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	早期完成を目指し関係各機関への要望を強化し、事業の継続を推進すること。
---------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2747	担当課等	農林水産課						
事務事業名	有害鳥獣等被害対策事業								
予算科目コード	会計	1	款	5	項	1	目	3	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(1) 農業生産基盤の整備	有害鳥獣による被害への対応				
関連する個別計画	湯河原町鳥獣被害防止計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目 的	野猿、イノシシ等の有害鳥獣による農業被害、生活被害等を防止し、健全な農業振興を図る。								
対 象	農業者、町民、湯河原町鳥獣対策協議会、JAかながわ西湘湯河原支店鳥獣対策部会及び神奈川県猟友会湯河原方面支部								
内 容	負担金は被害軽減のために設置している鳥獣対策協議会活動費であり、協議会は野猿等追払いにかかる人件費、イノシシ、シカ捕獲駆除に対する報奨金などを支出している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		2,964,198	3,055,532		3,115,000		
	人件費	常勤職員	3,506,000	3,428,000		3,616,000		
		会計年度任用職員等	4,300	9,600		10,000		
		人件費合計	3,510,300	3,437,600		3,626,000		
	総事業費		6,474,498	6,493,132		6,741,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		500,000	861,000		807,000		
	地方債							
	その他特定財源		3,400	3,400		3,400		
	一般財源		5,971,098	5,628,732		5,930,600		
	財源合計		6,474,498	6,493,132		6,741,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
追払い回数			被害防止対策		回	269	269	260
イノシシ・シカ駆除数予定数			被害防止対策		頭	200	200	200
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
追払い回数			被害防止対策の結果		回	141	156	260
イノシシ・シカ駆除数			被害防止対策の結果		頭	128	56	200

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	法律に基づき、被害防止策を推進する必要があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	野猿の追払いや駆除への謝礼等であるため、実績に応じた費用である。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	継続的に行う必要がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	定期的な野猿の追払いの実施及び被害通報への対応により、機会の均等は図られている。
令和4年度までの自己評価または改善点		平成24年7月野猿追払い隊を結成、平成29年9月の国補助金要綱の改正に伴い町要綱を改正し、報奨金を増額するとともに、国庫補助金を受けられるよう協議会から支出するよう変更した。報奨金増額のため、県へ補助の要望を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	農地のみならず街中にも鳥獣が侵入しており、継続的な捕獲・追払いが必要。鳥獣対策協議会が実施する捕獲・追払いは、鳥獣の知識を有する方を隊員とし、巡回している。隊員が高齢化しているため、新たな人材の確保が必要がある。委託については、費用面や鳥獣の通報を受けてからの出動では、間に合わないなどの課題があり、研究が必要である。
令和5年度の見直し及び改善予定	サル被害軽減のため、県が実施する事業に野猿の行動を把握するためのデータを提供した。豚熱に対する捕獲者への支援を実施する。追払い隊員を募集し隊員を一新し追払い活動を実施した。 追払い活動には限界があるため、県に対してT1群の全頭捕獲するよう要望した。加害個体2頭の駆除を実施し、1頭駆除した。	
令和6年度以降の方向性	サルについては、継続的な追払いを実施し、県と協力して加害個体の捕獲や被害防止対策を進める。また、イノシシ等については、捕獲者の確保、捕獲活動に重点をおき、全体数の減少を目指す。 イノシシ等の捕獲報奨金補助を令和3年度より県から補助金を交付され、令和5年度末までの時限措置であるため、令和6年度以降も引き続き県へ要望する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	データ等を活用し、更なる被害防止施策を検討していく。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2783	担当課等	農林水産課						
事務事業名	農地保全活動事業								
予算科目コード	会計	1	款	5	項	1	目	3	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	耕作放棄地対策				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目的	農地の確保及び農地の有効性の促進を図る必要から、現在耕作放棄地となっている農地を使用貸借し、景観作物を作付けし農地の保全を図り、農業者、新規就農者へ農地の利用促進を図る。								
対象	町内農家								
内容	菜の花の景観作物の栽培								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		309,693	598,639	769,000		
	人件費	常勤職員	350,600	342,800	361,600		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	350,600	342,800	361,600		
	総事業費		660,293	941,439	1,130,600		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		660,293	941,439	1,130,600		
	財源合計		660,293	941,439	1,130,600		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
景観作物の植付種類			景観作物の植付の費用を予算計上している。	種	1	1	1
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
景観作物の植付種類			実績	種	1	1	1
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	耕作放棄地対策としてモデルケースとして行っている。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎年、菜の花が咲き景観がよいと好評を得ている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	2	農業者や新規就農者への農地の利用促進が図られていない。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	2	モデルケースとして行っているため、対象となる農地が限られている。
令和4年度までの自己評価または改善点		特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町が農地を借り上げて、農業委員会がモデル事業として行っているため。
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし。	
令和6年度以降の方向性	令和7年10月31日までの使用賃借契約のため、担い手への農地利用の集積、集約化、耕作放棄地の発生防止対策として検討する。また、農用地の利用の最適化を積極的に推進できるよう農業委員会等と連携を図る。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	耕作放棄地の発生防止、解消にさらに努めること。
---------	---------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	一次評価と同様
---------	---------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月6日

事業番号	2720	担当課等	農林水産課							
事務事業名	農業経営合理化振興事業									
予算科目コード	会計	1	款	5	項	1	目	3	事業開始年度	平成12年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	④農業経営の安定化 の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目的	市場性の高い優良品種みかんの導入、改植をすることにより、直売などによる消費拡大を推進するとともに、鳥獣等による被害を軽減し経営の安定化に寄与する。								
対象	町内農家								
内容	優良品種への更新、改植、伐採等や鳥獣による農作物被害防止のための防除ネットや防護柵等の購入費用の一部助成。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		1,822,086	967,695	976,906		
	人件費	常勤職員	1,402,600	1,371,200	1,446,400		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,402,600	1,371,200	1,446,400		
	総事業費		3,224,686	2,338,895	2,423,306		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		3,224,686	2,338,895	2,423,306		
	財源合計		3,224,686	2,338,895	2,423,306		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
交付予定補助金額			当初予算	円	2005000	2010000	2010000
申請件数			当初予算	件	100	100	100
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
交付済み額			実績	円	967695	976906	976906
申請件数			実績	件	51	53	53

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	耕作放棄地の増加や農家の担い手が減少する中、経営向上意欲のある農家を手助けすることは国の施策に合致する。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	優良品種の導入については、効果がすぐ得られるものではないが、鳥獣被害対策については被害軽減効果が得られている。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	より良い苗木の導入や被害防止資機材の購入は、経営の安定化に寄与すると考える。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	農業経営者で経営意欲のある農家であれば均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の内容上、委託、指定管理にはなじまない。
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし。	
令和6年度以降の方向性	随時、補助内容の見直しを図り、農家の経営安定化を図っていく。補助内容の見直しについて調整を行う。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	農家へのアピールと必要に応じて補助内容の見直しを行うこと。
---------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2779	担当課等	農林水産課						
事務事業名	農業援助育成等対策事業								
予算科目コード	会計		款		項		目	事業開始年度	平成20年

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	農業経営の安定化の 推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○						
目的	農産物の販売を目的とした、朝市等イベント参加、開催、消費拡大の為のPR活動をする町内の農業団体を支援し、地産地消の推進に向けた取り組みを行う。 令和5年度より名称を変更。								
対象	農協女性部、駅前農産物直売所運営協議会、JAかながわ西湘湯河原営農経済センター等の地産地消の推進に取り組む団体								
内容	農業振興対策事業として荒廃園地対策や、農業援助育成対策事業として農業団体育成、鳥獣害防止対策などに対する補助金を交付								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
コスト	人件費	常勤職員	350,650	342,800	361,600		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	350,650	342,800	361,600		
		総事業費	394,100	372,800	461,600		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	394,100	372,800	461,600			
	財源合計	394,100	372,800	461,600			
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
補助金申請件数		予算計上件数		件	1	1	1
					0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
補助金交付件数		実施件数		件	1	1	1
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生産意欲のある農家や団体に対して、地場産業の育成、推進は必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	徐々にではあるが、売り上げを伸ばしており、即効性はないが継続的に行うことにより、知名度を上げている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	農業団体及び農家の意欲の向上は図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	地域の特性を生かした、農産物を生産している農家、農業団体にとっては均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		観光イベントに絡めて活動している。(梅の宴開催期間など)	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	農業団体への補助金であるため
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和6年度以降の方向性	補助金については令和5年度から事業名称を「農業援助育成等対策事業」に変更し、JAかながわ西湘各支店等を通じて農業団体等へ周知していく。 また、湯河原産の地場産品のおいしさ、安全性をより多くの消費者にアピールするため、農業団体等の活動PR等を中心に助成していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	農家の地産地消に向けた取り組みを支援していくこと。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月6日

事業番号	2727	担当課等	農林水産課							
事務事業名	ふれあい農園振興事業									
予算科目コード	会計	1	款	5	項	1	目	3	事業開始年度	平成14年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(3) ふれあい農園・遊 休農地の活用	①ふれあい農園の規 模拡大				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目 的	農業者以外の者が、野菜、花等を栽培することにより土にふれあい、農業に対する理解を深めることを目的とする。また、農家が自ら市民農園を開設し、もって耕作放棄地対策の一助とするため。								
対 象	町民及び湯河原町に固定資産を有するもの。								
内 容	農地を借り上げ、ふれあい農園として町民等に貸し付け維持管理を行っている。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		1,631,025	2,219,706	2,398,875		
	人件費	常勤職員	1,402,600	1,371,200	1,446,400		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,402,600	1,371,200	1,446,400		
	総事業費		3,033,625	3,590,906	3,845,275		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		1,106,250	1,106,250	1,050,860		
	一般財源		1,927,375	2,484,656	2,794,415		
	財源合計		3,033,625	3,590,906	3,845,275		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
設置区画			設置区画数	区画	160	160	160
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
設置区画数			貸出区画	区画	121	140	140
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	農家が開設する「市民農園」に移行したいが、現状では厳しいので町が当分の間行う事業である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	土とのふれあいや収穫の喜びは数値化できない。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	本来の目的は、農家などが自ら開設する農園の推進と助言であることから成果は得られていない。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	農園利用者にとっては受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	農家もしくは農業生産法人、地方自治体のみが運営できる。
令和5年度の見直し及び改善予定	農家が自ら開設する「市民農園」の開設に向け、町が開設している「ふれあい農園」をモデルにアピールしていく。	
令和6年度以降の方向性	町が開設している「ふれあい農園」をモデルとして継続しながら、農家が開設する「市民農園」を増やし、徐々に民間に移行していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	農家が市民農園を開設するためのアピールと初期投資に要する経費の補助を検討していくこと。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2914	担当課等	農林水産課							
事務事業名	幕山保安林地域整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	5	項	2	目	3	事業開始年度	平成2年

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	6 林業	(1) 林業基盤の整備	生活環境保安林の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目 的	幕山保安林内(梅林内)を良好に保つため、下草刈り、剪定等を行う。								
対 象	幕山保安林内(梅林内)								
内 容	下草刈り、剪定等を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		14,931,000	16,161,500	17,828,000		
	人件費	常勤職員	1,402,400	1,371,200	1,446,400		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,402,400	1,371,200	1,446,400		
	総事業費		16,333,400	17,532,700	19,274,400		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		16,333,400	17,532,700	19,274,400		
	財源合計		16,333,400	17,532,700	19,274,400		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
整備面積			整備面積	ha	7.2	7.2	7
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
整備率			整備面積/全体×100	%	100	100	100
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	保安林(梅林内)の整備は、観光資源の観点からも必要不可欠となっており、町が整備することは必要である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	梅の花の咲き具合で判断できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	整備を充実することにより、良好な状態で観光等への活用が図られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	梅林は年間を通じて解放されているため、受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点	ウメ輪紋ウイルス検査を令和2年度まで行ったが、ウメ輪紋ウイルスは検出されなかった。また、桜郷地区森林整備事業を併せておこなった。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町有林であり、かつ保安林でもある。一部民地(農地)があるが町で行うべきである。
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし。	
令和6年度以降の方向性	町の観光資源である梅林の維持管理に努めるため、専門家に指導、管理指針作成を依頼する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	梅林は、町の重要な観光資源でもあり、継続的かつ適切な管理を行っていくこと。
---------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	梅の木の老木化への対応を検討すること。
---------	----------	---------------------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2885	担当課等	農林水産課							
事務事業名	地域水源林整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	5	項	2	目	1	事業開始年度	平成19年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	6 林業	(1) 林業基盤の整備	育林の指導援助				
関連する個別計画	第4期 市町村5か年計画(地域水源林整備)(令和4年度～令和8年度)								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目的	県の「かながわ水源環境保全再生実行5か年計画」に基づき策定した、町の「地域水源林整備計画」により町有林、私有林を含めた間伐等を実施し、水源林の保全・整備を推進するものです。								
対象	町内地域水源林指定区域。								
内容	町有林については、間伐等の実施、私有林については長期施業受託委託による補助金を県森林組合連合会に支出。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	2,103,600	2,056,800	2,169,000	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	2,103,600	2,056,800	2,169,000	
		総事業費	31,469,772	13,769,945	20,888,000	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金	29,300,000	11,700,000	18,700,000	
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,169,772	2,069,945	2,188,000	
		財源合計	31,469,772	13,769,945	20,888,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
実施面積(町有林)		年度ごとの整備面積	ha	6.4	4.2	4
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
整備率(5ヶ年計画 44.6ha)		整備面積/全体×100	%	14.3	9.4	9
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町の条例において、町の責務として位置づけられている。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	水源環境保全税が原資として、森林整備を図ることにより、水源かん養など公益性の高い森林づくりができた。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	継続的に事業を進めることで、水源かん養や土砂流出防止、生物多様性の保全などが図られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	水源地域の環境保全に役立つため、水道利用者に恩恵があり、公平性は高い。
令和4年度までの自己評価または改善点		特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町有林に関しては、所有者の責務である。
令和5年度の見直し及び改善予定	市町村5か年計画の推進をすると共に、第4期市町村5か年計画に基づき森林整備を行った。	
令和6年度以降の方向性	水源林の確保、整備を進めることで、引続き水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指す。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	森林の整備を行うことにより、保水力の維持、水源の確保、大雨による土砂流出、流木等による被害を防ぐことは重要であるため、本事業を計画的に継続していくこと。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2940	担当課等	農林水産課						
事務事業名	漁業経営改善調査研究費補助金								
予算科目コード	会計	1	款	5	項	3	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	7 漁業海業	(1) 漁業生産基盤の 整備	整備の近代化の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
					○				
目的	沿岸漁業構造改善事業によって設置された人工漁礁(並型漁礁)での魚類繁殖等の状況を調査する(平成17年より徐々に魚が根付いてきている。)沿岸漁業構造改善事業により福浦漁業協同組合が設置した人工漁礁の蛸集効果測定のための潜水調査に対し補助を行った。								
対象	福浦漁業協同組合								
内容	人工漁礁の蛸集効果測定のための潜水調査								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費	100,000				
コスト	人件費	350,600				
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	350,600	0	0		
	総事業費	450,600	#VALUE!	#VALUE!		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	450,600	#VALUE!	#VALUE!		
	財源合計	450,600	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
補助金支出金額		補助金申請書による	円	100000	0	100000
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
実績報告		実績報告書による	円	100000	0	100000
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか		平成17年より人工漁礁の蛸集効果測定のための潜水調査を行っており毎年魚が根付いている状況が確認できるため令和3年度で事業を終了する。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		
令和4年度までの自己評価または改善点		平成17年より人工漁礁の蛸集効果測定のための潜水調査を行っており毎年魚が根付いている状況が確認できるため令和3年度で事業を終了する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	
令和5年度の見直し及び改善予定	
令和6年度以降の方向性	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	完了	平成17年より人工漁礁の蛸集効果測定のための潜水調査を行っており毎年魚が根付いている状況が確認できるため令和3年度で事業を終了する。
---------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	
---------	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月 日

事業番号	2940	担当課等	農林水産課						
事務事業名	漁業振興対策事業								
予算科目コード	会計	1	款	5	項	3	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	7 漁業海業	(3) 漁業経営改善の 促進	整備の近代化の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
					○				
目 的	漁業振興のため、福浦漁業協同組合が実施する、定置網、経営改善、近代化事業 に対して助成する。								
対 象	福浦漁業協同組合								
内 容	稚貝・稚魚の放流や漁港施設の維持管理修繕等								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		950,000		900,000	
コスト	人件費	常勤職員	350,600	342,800	361,600	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	350,600	342,800	361,600	
	総事業費		1,300,600	1,242,800	1,261,600	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,300,600	1,242,800	1,261,600	
	財源合計		1,300,600	1,242,800	1,261,600	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
補助金支出金額		補助金申請書による	円	900000	900000	900000
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
実績報告		実績報告書による	円	900000	900000	900000
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4 町管理の漁港であるので、施設の維持管理は町が行うべきである。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5 施設の維持管理修繕に使用されているので、効果は確認できる。
類 似 性	他事業との類似はないか	
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3 場当たりの要素があるが、施設の維持管理修繕については、継続的に実施していく必要がある
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 漁業協同組合及び組合員であれば均等である
令和4年度までの自己評価または改善点		特になし。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助金として支出している。
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし。
令和6年度以降の方向性	町補助金交付要綱に基づいて、支出する。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	漁業振興に向けた事業を展開できるよう指導していくこと。
---------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------